

## (別紙12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
実習期間	平成 30年 8月 21日 ~ 平成 30年 8月 25日
学生氏名	小河原 享
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡生活情報マップの修正 仕上げ</li> <li>・</li> <li>国旗・本棚清掃 アンケートまとめ作業</li> <li>・</li> <li>・世界の台所</li> </ul>
学び・気づき (300字程度)	1日目に日本語教室があり、実習テーマにあげていたたくさんの方々との関わりを経験できた。実際に見学してみると、日常会話ができる人達に対しては同音異義語や、日本語の差異など日本人も間違えたりしそうな内容を取り扱っていた。異国に移住するにあたってこのような制度はどの国の人に対してもものすごく役立つものだと実感した。各種イベントを通してどのような工夫をして運営をしているのか学ぶ事ができたので良い機会だった。訪れたことのある施設でも実際に働いてみると初めて知ることも多くあり、新鮮な気持ちで取り組めた。
今後に向けた抱負 (200字程度)	今回実習を経て、希望する分野ということもあり、色々興味を持って参加する事ができた。訪れた事もある施設ではあるが、5日間で今まで知ることのできなかったことなどたくさん知れたと思う。事務の方々も質問をしたときに丁寧に教えてくださり、そのおかげで終始集中して作業を行なえ、とても充実した時間を過ごせたと実感した。時間に対する行動の面で指摘があったのは、気の緩みでもあり、マイペースなところを早急に変えなければいけないと感じた。今は学生という立場であり、若干甘い気持ちを抱いていて、行動にめりはりがないうちがややある。協調性をより磨くことで意識も少しずつ変わっていくと思うので、その都度臨機応変に行動していけるように頑張っていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	地域の方々に密着しつつ、海外の方とも交流を発展していけるよう、毎年色々なイベントを随時開催しているところ。事務の方々含め、施設に訪れた方がみないいい表情でなごやかな雰囲気にも包まれている。お年寄の方も退職後に気軽に体験できるような企画が組まれていたり幅広い層の方々に支持されている事が魅力であると思う。国内外の交流の架け橋となるよう、毎年たくさんの方との交流があり、ますます発展していくと思うので国際的分野において欠かせない施設だと感じた。鶴岡市に限らず、山形県内そして東北地方でも関連団体がいくつもあり、取り組みは違っていてもそれぞれ国際について発展に尽力していることが魅力的である。
写真 (1~3点)	